

4月26日の降雨により県内各地域で黒星病が広く感染したと予想されます。 速やかに黒星病防除剤(EBI剤、カナメフロアブル)を散布しましょう。

現在の状況

- 1 前年発生量は平年より多く、本年の伝染源密度は前年発生地域で特に高いと考えられる(図)。
- 2 4月26日夕方以降の降雨により県内全域で感染好適条件になった。

防除対策

- 1 現在、本病の重点防除時期(開花7~10日前、開花直前)を迎えている。黒星病防除剤(EBI剤、カナメフロアブル)は降雨直後に散布すると効果的であるので、今回の降雨に合わせて速やかに散布する。
- 2 散布ムラが無いように十分量を丁寧に散布する。
- 3 耐性菌の発達を防ぐため、落花期以降は黒星病を対象としたEBI剤やSDHI剤の使用を避ける。

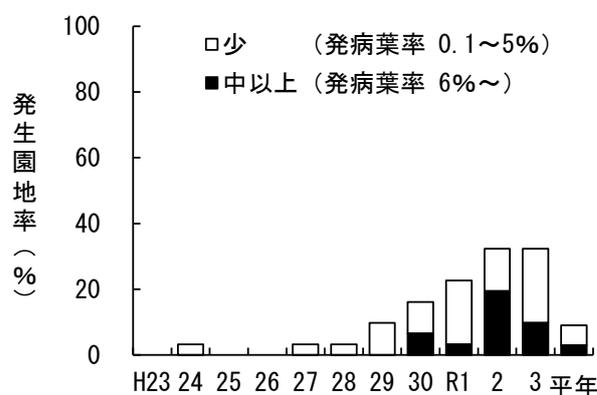


図 黒星病(葉)の発生園地率の年次推移(年間評価)



写真1 果そう葉の葉裏病斑



写真2 果実病斑

【利用上の注意】

本資料は、令和4年4月20日現在の農薬登録情報に基づいて作成しています。

- ・ 農薬は、使用前に必ずラベルを確認し、使用者が責任を持って使用しましょう。
- ・ 農薬使用の際は(1)使用基準の遵守(2)飛散防止(3)防除実績の記帳を徹底しましょう。

【情報のお問い合わせは病害虫防除所まで】TEL 0197(68)4427 FAX 0197(68)4316

☆この情報は、いわてアグリベンチャーネットでもご覧いただけます。

<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/boujo/index.html>

